

4 自由記載

4 自由記載

問9自由記載において、保健・福祉サービスや介護保険制度などの高齢者施策全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について寄せられたご意見（502件）のうち一部を抜粋の上、掲載している。

なお、プライバシーに関する記述、特定個人や団体に対する好意的意見・批判・中傷等は、その記載の一部を割愛し、また、明らかな誤字・判断しにくい文字・文章については、表現を修正している場合がある。

4. 1 「64歳以下」の自由記載

4. 1. 1 保健・福祉サービス

年金の格差によって受けられる保健・福祉のサービスが変わるので、老後を考えると不安になります。介護が必要であっても年金が少ないと受けられなかったり、受ける内容に限りがあったりとお金の問題が大きいと思う。本人の年金が不足すれば、その負担がその子供や兄弟にのしかかってくる。お金のある人ばかりが優遇される今の福祉制度にはまだまだ問題があると思う。年金も将来もらえるかどうかとも怪しいと思う。

（女性、満50～54歳、中央区）

こういった意識調査により、住みやすい生きやすくなるのであればとても良いと思います。高齢者だけではなく、ほかの状況の人向けの調査もあったらいいのにと思いました。（既にあつたらごめんなさい）私は難病患者であり、内部障がい者でもあります。見た目は健常者と変わりません。でも困ったことはたくさんありました。そんな時に福祉サービス等があつたらとてもありがたいと思います。

（女性、満40～44歳、東区）

4. 1. 2 介護保険制度

基礎年金で入れるような介護施設を増やして欲しい。

（女性、満60～64歳、白石区）

要介護認定を受けるには本人か家族が自ら申請しなくてはならないこと、かつ認定された後も自らが地域包括支援センターに出向いて受けられる介護内容について相談しなければならないことを正しく知識として知らなければ、徐々に認知症を発症、進行させていく老人（あるいは若年も？）は周囲からもただの変人扱いされかねず、その疎外感から症状をさらに進ませかねないと思う。

（女性、満60～64歳、西区）

介護度についてです。仕事で介護認定者と接していますが、その介護度の判定にばらつきが多く、いつも疑問に思っています。対象者も調査時に介護度を思い通りにしたいがために”演じる”こともあるということも聞きます。「本当に、その方に、そのサービスが必要なのか?」「過度なサービスではないか?」「ただ便利だからという安易な考えで、サービスを受けていないか?」等々…生活保護制度にも同じ思いを感じますが、札幌市にはぜひとも『正しい目』で市民の税金を有効に使っていただけるよう、望みます。

(女性、満 55～59 歳、清田区)

特養を増やしてほしい。有料は経済的に入れない人がいる。

(女性、満 40～44 歳、東区)

40 代の共働き世帯です (7 才 4 才 1 才) 子供を育てています。義父 (79 才) が要介護で在宅での生活が困難となり現在入院中。義母 72 才も体調が悪く自宅での生活が難しくなりつつあります。介護サービス (訪問看護、ヘルパーさん) も多く利用してきましたが、その調整や連絡、HP への送迎、HP や施設との連絡、すべて息子である夫の役割となっています。しかし仕事でも役割が大きく家庭では 3 人の子供の世話…とまさにダブルケアで大変です。今後私たちが高齢になった時に同じ様な思いをさせたくないと感じます。家族 (息子、娘) に負担をかけない老後を送ることができる社会になる事が一番の願いです。

(女性、満 40～44 歳、西区)

介護認定を受けていない高齢者の「介護予防」に取り組む機関があまりにも少ない。「介護予防」にもっと力を入れるべき。

(女性、満 60～64 歳、厚別区)

要介護 4～5 に認定されればあらゆる支援を受けられるので、在宅介護でもかなり負担が減ります。しかし、要介護 3 までの間は家族はほぼすべての世話をしなくてはなりません。着替え、洗顔、食事、入浴、排せつ等々。仕事をしながらこれらをこなすのは精神的にも肉体的にも相当つらいものがありました。当時は疲労で死ぬってことはあり得るなど感じていたものです。もう少し家族の負担を減らすようにしないと結局は共倒れになるでしょう。日本でも安楽死を導入するべきだと思います。私は、自分の口で食事ができなくなったら胃ろうを拒否して餓死を選択します。その時、家族や関係者が罪にとわれないよう、法整備がされていれればと思います。

(女性、満 45～49 歳、豊平区)

4. 1. 3 医療

高齢者医療費の負担はありがたいが、その分の負担等はその下の世代となるが・・・すべての人が健康で、また、何かしら通院していることも多々あり、その通院にかかる費用 (女性が受けられないのが大半である。) や、定年まで正社員として働いていけるという保証はなく、経済的不安や心配は一般のすべての世代にあると感じる。介護保険料、消費税増額は、これからもその心配不安はある。すべての人、世代が、住みよい安心の環境で生活していけるよう、若い世代も関心を持っている人が多々いるので、医療福祉の充実を望みつつ、可能なこと等提示してもらえたら市民として協力し、実践していきたいと思う。

(女性、満 45～49 歳、東区)

札幌市に限りませんが高齢者が増えてきている今もっと高齢者の医療負担を上げていかなければ若い世代への負担ばかりが重くなっていくと感じています。年金も今のお年寄りにはたくさんもらっています。それ以外の不公平感をいつも持っています。お年寄りばかりが優遇されていると思います。(男性、満 55～59 歳、手稲区)

4. 1. 4 高齢者の社会参加・生きがいづくり

高齢者の方が働くことができる場所がもっとあると良いと思っています。(女性、満 55～59 歳、豊平区)

将来自分が高齢者になった時家族以外の人と接する機会が欲しいと思います。例えば町内会の活動もその一つだと思っていますが入居中のマンションが町内会から脱ける方向に向かっています。町内会の行事を楽しみにしている高齢者にとっては残念な事だと思います。(女性、満 50～54 歳、西区)

元気なシニアの方々ももっとボランティアとして活動しやすくしてほしい。元気なシニアで、高齢者を支える仕組みをもっと充実させてほしい。(女性、満 55～59 歳、西区)

4. 1. 5 高齢者のすみよいまちづくり

高齢者の免許返納が話題になっているが、交通機関(バス・地下鉄)が充実しているとは思えない現状である。(場所によっては不便)免許返納しても十分に生活できる環境をつくることも大事なのではないかと考える。実際の高齢の方々の生の声をもっと聞くべきだと思う。(男性、満 45～49 歳、北区)

老人が車を使用しなくても良い街づくりがいいと思う。郊外の老人が運転する車が怖い。(男性、満 55～59 歳、豊平区)

帯広に在住の 84 歳の母は、市の敬老パスが無料(バス乗車が 70 歳以上は市内なら無料)なので、一人で出かけることが多く、閉じこもり予防にもなっていると感じる。お年寄りが、外出しやすい、サービスを充実させると社会保障費は平等であるし、本人の健康維持を保ち、医療費の削減にもつながるかと思う。(女性、満 55～59 歳、西区)

現在の自分の生活は高齢者が身近にいないので、実生活から意見は出来ませんが、地下鉄料金の値上げや、賃貸住宅(高齢者向け)の環境、仕事など高齢を迎えた時の不安を数えたらきりがありません。北海道全体の所得の低さに加え、札幌にすべてが集約されているにも関わらず、住みやすいとは言えないと思います。他の都道府県でのサービス(+サービスを増やす努力)と比べると札幌市は取組に欠けると思う。(女性、満 40～44 歳、豊平区)

4. 1. 6 市の施策や行政の対応等

今回のアンケートでは自分がまだ63歳で今は何も困ったことなく現役生活を送っていますが、将来、10年先、20年先は状況は変わってると思います。娘も遠く離れて住んでいますし、夫の介護や逆の場合もあり、不安な事はいっぱいです。友人、知人への相談ではなく、公共の相談を求めるようになるでしょうし。窓口が増え、また、情報発信を活発にしてもらい、高齢者に理解できるようにしてもらいたいです。

(女性、満60～64歳、西区)

どのような相談窓口があるかわからないし、その相談窓口がどのような相談に乗ってくれるのかもわからない。例えば、市の某窓口で一度相談を受けて、さらに具体的なことは各相談窓口に割り振ってもらうなどの仕組みを公示してほしい。

(男性、満60～64歳、南区)

調査には賛成ですが、本用紙を少し質を落とすとか、最後のページが白紙だったり税金で調査するのですから少しでも費用を安くした方がいいと思います。

(男性、満60～64歳、西区)

高齢者や障がい者が受けるサービスの中に年齢制限があるものがあるかと思います。年齢制限をなくしたらよいかと…。生活保護もそうです。特に食費！「もう年だからあまり食べないでしょうから、月10000円ですね…」とか。←これは実際に役所で言われた言葉です。年をとってもたくさん食べる方はいらっしゃいます。逆に食べれなくなる方も…。きちんとリサーチしてからそういう費用を決めてほしいです。病院に入院・施設に入所している方と、1人で生活している方とは違うのですから。あと役所の方々の態度ですかね…。相談窓口を設置しているのに、めんどくさそうに対応するのやめてほしいですね。不愉快です！接遇きちんとした方がよいですよ。

(女性、満50～54歳、中央区)

例えば病院で診断を受けた時や年金受給する年齢になった時、お知らせがあればよい。受けられるのに知らなかったり気づいていないサービスがあると思う。受けられるサービス一覧表のようなものを各家に送付、確認できる場所の電話番号によってキャッチボール可能になってほしい。まずそれさえも知らない事が多いのではないのでしょうか。

(女性、満55～59歳、北区)

ご調査するにあたって時間的にどのくらいかかるのか基礎資料として調査を行ったものをどのように住民たちに返していくのか(予定なのか)を明記してほしいかと思えます。高齢者の孤独死が増加している中、介護が本当に必要な人に対する対応が札幌ではまだまだ不足していると思います。周知方法を検討していただければと思います。

(女性、満50～54歳、中央区)

4. 1. 7 年金について

高齢者住宅の種類がありすぎてよく分からないが、年金だけで住める住宅が少ない。これからの世代は年金もあてにはならなくなる。60歳で定年になっても年金が出るのは65歳からなど…その間の生活はどうするのか不安がたくさんある。軽費で入居できる住宅を作ってほしい。又は民間でも高齢者だからと言って入居させないということがないようにしてほしい。
(女性、満50～54歳、東区)

年金が微量な金額でも毎回毎回減らされているのが気になります。これから自分がどのくらい生きられるか全くわからないので安定した年金を受け取らなければすごく不安になります。家族に迷惑をかけられないので心身ともに元気でいたいと思うのは私の願いなのですがこれもどうなるか…認知症にはなりたくないと思うのでなるべく頭を使うようには心掛けていきたいですね。
(女性、満55～59歳、手稲区)

4. 1. 8 その他

高齢者の権利を守ることは大事なことだと思うが、高齢者の中にはその権利を主張して凶々しく、守られて当たり前というような行動を目にすることが増えてきたと思う。認知症のために、そのような状況になっていることも考えられるが、周囲の目が行き届くことの必要性を感じる。
(女性、満60～64歳、西区)

これから20年後、我々団塊 Jr 世代が一気に高齢者になるので、今から徹底的に健康管理させれば市の負担も減ると思う。今の高齢者は戦後復興に多大な貢献をしており、我々の世代はただそれを享受しているにすぎない。あまやかしてはだめだ。そういう意識をもって私も過ごす。
(男性、満45～49歳、厚別区)

当町内は退職者の家が多く、それぞれに活動をしていて自分の健康などの維持の努力をしているが、この冬場になると町内で話し合われているのが除雪問題で、当町内の除雪がいい加減で、何度も除雪を行わなければならないし、75歳以上のお宅の手伝いなどが多い。もう少ししたんねんな除雪業者を配置してほしい！
(男性、満60～64歳、北区)

4. 2 「65歳以上」の自由記載

4. 2. 1 保健・福祉サービス

敬老優待乗車証の利用で趣味活動・通院・買物・友人との交流など行動範囲が広がり、足の痛みがあっても、健康保持と閉じこもり防止の為、今後も続けて利用させていただきます。又、近隣に住わっている高齢の一人暮らしの方への声かけなどの見守りや、町内会活動にも出来る協力はしていきたいと思う。家族や自分の生活全般も二人共高齢になってきて、先の不安はありますが、自力保持で頑張っていこうと思います。支援を必要となった時は適切なサービスを受けたいと思います。
(女性、満70～74歳、西区)

特養の待機者が多く、必要になっても入所困難である。特養の増設が少なすぎる。

(女性、満 65～69 歳、北区)

1. 高齢者を対象とした福祉サービスが多様に渡り、こんなに多くあるとは知らなかった。2. 内容は充実しているように思うがサービス内容について広報等を通じてもっとわかりやすい印刷物を作ってほしい。3. 敬老パス等、市の誠意は感謝している。現在あるサービスの充実を期待しています。

(男性、満 70～74 歳、東区)

敬老パス、医療代 1 割負担助かっています。ありがとうございます。

(女性、満 80～84 歳、無回答)

1. シニアを「人的資源」と考える立場から (1) 「敬老パス」は大変ありがたい。この制度はぜひ存続してほしい。少しずつ足腰が弱ってくるものの、自己のペースを守って自力で外出することを促すことにもなり、健康の保持と、つながりさらには、医療費削減にもなります。(2) 町内会のボランティア保険の掛金の補助をすること。シニア世代を町内会活動に勧誘し、シニアの知恵を地域活動に活用する意味からも、町内会活動への金銭的補助。具体的には、ボランティア保険の掛金の補助を要望します。私も所属する町内会活動に参加していますが、ボランティア保険は町内会費で払っています。2. デジタル社会への対応を援助してほしい観点から。早晚 ATM も姿を消すでしょう。私どもより 10 年若い世代は、私どもより、少しはデジタル社会になじんでいますから、さほど、心配しないでしょうが、現在 70 歳前後以上のシニアにとって、デジタル社会には魔界に足を踏み入れるような恐怖を覚えます。公的機関、ショッピング、外食、銀行、交通機関等などは、シニアをサポートしてくれる人たちを、ぜひ配置してほしいと思います。

(女性、満 75～79 歳、白石区)

医療など、タクシー券、ケアマネージャー介護費、市の援助はありがとうございます。

(男性、満 80～84 歳、中央区)

現在、ゴミの「さわやか回収」等サービスを受けている。現在のところ満足している。

(男性、満 65～69 歳、厚別区)

昔に比べ福祉が十分行き届いていると思う。特に高齢者、子供には満足すべきだと思う。逆に若い世代 40 代 50 代の子育てしている人が大変なことになっていると思います。

(女性、満 65～69 歳、南区)

保健福祉サービスの窓口もいろいろあり、どこに相談していいかわからない。活動を広げるより必要と思われる活動（今後高齢者が増えるとして）に充実を図ってほしい。敬老優待乗車証、とくとく検診等は免許返納＋健康維持に役立つと思う。一人一人に直接還元はありがたい。介護保険制度は始まり方がよくわからない。現在も予算がないので負担増、活動の見直しという感じで老後のビジョンがない。(健康増進→負担軽減ではないのか)

(女性、満 65～69 歳、手稲区)

札幌市民であればいつでも安心して低費用ですぐ利用できる施設を増設してほしい。高齢化と核家族に向けて一層介護施設が必要となると思うので。ヘルパーさんを育成することも大事と思う。

(女性、満 70～74 歳、南区)

福祉サービスとして家の周りの雪かきなど高額でない料金でいつでも利用できるシステムがあればいいと思う。
(女性、満 65～64 歳、手稲区)

1 人暮らしで体調悪い時に緊急サービスが受けられるか。絶対安静とクリニックで言われても自分でやらなければならない、HP でサービス受けられる様に福祉サービスとの連携があって良いと思う。
(女性、満 70～74 歳、無回答)

これから自分もどうなるかわかりませんが、多少元気であれば部屋代の安い老人ホームのようなところ(琴寿園)のようなところで暮らしたいと思いますが、なかなか入所できないようです。あのようなところを多く作ってほしいです。
(女性、満 65～69 歳、西区)

国民(基礎)年金の支給額(現在 70～80 歳)の範囲内で入居できる介護施設や老人ホームなどたくさん作ってほしい。
(男性、満 75～79 歳、厚別区)

札幌市は高齢者にとっては福祉も充実していると思います。暮らしやすいとも思いますが、私はまだ健康で仕事をしています。もっと元気で働ける方がたくさんいると思います。制度が良すぎてそれを正しく利用していない方もいると思います。現状に合った福祉の対応を、大変だとは思いますが見極めていただきたいと思います。高齢者と暮らす家族の対応・対策も考えていただければと思います。経済的負担もかなりあるでしょうから。息子夫婦や娘夫婦が共働きだとなおさらのことだと思います。たとえば、高齢者(同居や近くに住んでいる)を病院へ受診させる時の交通費の負担とか。公共の交通機関の利用が難しいとタクシーの利用になります。そういう事例がたくさんあると思います。
(女性、満 65～69 歳、東区)

高齢者の福祉の施策は、老人が多く、また選挙や議員の活動(票目当て)など政治的にも十分とは云えないまでも、話題にもなり、反映されていると思う。半面、老人に対しての年金や福祉サービス等の政策などにより、市債・国債などで、財政的に借金が増えているのではないかと。そのつけを若い世代に先送りにしている。自分たち、老人、高齢者は、各種高齢者サービスの恩恵を求めるのも、もうそろそろ止め、若い人たちの特に今現在の政策を打って、生きがい、働き甲斐のある施策、政策が必要であると考え。もちろん、生活困窮への対応は手抜きにならないよう十分に必要。
(男性、満 70～74 歳、厚別区)

敬老優待乗車証を JR にも適応できるようにしてほしい。ここからだ、札幌までバス乗車時間約 1 時間、JR に乗ると 30 分程。高齢者の体力保持のため乗車時間が短い方がよい。高齢者にとって「ちかほ」は良き運動場になっているので健康維持ができ医療費の抑制になる。高齢者が街へ出ると消費にもつながる。買い物で脳が活性する。乗車証の初回金額は 2000 円でも良いのではないかと。JR は高い運賃なので利用者も考えて使用するが、選択肢を広げてほしいです。
(女性、満 65～69 歳、北区)

4. 2. 2 介護保険制度

デイサービス・ショートステイ等のサービスはよいと思う。要介護度が4、5になると施設に入る人が多いと思うが、30万以上の国からのサービスを受けているがそれに見合う介護と運営を施設がしているか監査して欲しい。
(女性、満85～89歳、北区)

介護保険は必要と思いますが、使い道を整理し、必要な事に使う。介護支援を受ける時にも、多くの人員がたずさわると思います。事務的な事が多すぎる、形だけの訪問や認定の決め方にも問題があると思う。熱心なケアマネージャーに担当されると、素晴らしいケアを受けられるかつ、その反対もある。福祉に携わる方々の質の向上を願います。
(女性、満70～74歳、中央区)

認知機能が低下し、ライフラインを止められそうになった知人への対応を地域包括とやりとりしましたが、急性とのとらえ方にズレを感じました。支援の方向について、提示がされず、逆にお願いをする形となりました。結果的には、かなり、ゆっくり対応ではありましたが、支援をしていただいています、迅速に判断し、行動する人員の確保と援助技術のスキルアップを望みます。
(女性、満70～74歳、白石区)

介護保険料が年金から天引きされるが結構高額。もう少し、安くしていただきたい。
(男性、満70～74歳、豊平区)

介護保険料が高すぎる。下げてほしい。(今七段階)。10段階以上の方を×2倍として5～7段階を5万円以下にする。
(男性、満70～74歳、豊平区)

現在支援で認定で、2割自己負担です。社会保障が年々増加しております。これ以上の負担では生活費が捻出するのが大変です。人生100年と言われておりますが、社会保障費が増加傾向にありますので、担当者も大変かと思われそうですが、軽減策を検討されますこと、よろしく願いいたします。
(男性、満75～79歳、北区)

介護の認定が大変。なぜ障害手帳で認定ランクが決められないのか、忙しくて！受けられない。
(女性、満70～74歳、北区)

年金額の減少がある中、介護保険料の増額で生活が苦しくなっている
(男性、満70～74歳、白石区)

今の時点では健康なので福祉サービスとか介護保険などの話を聞いてもあまりピンときません。でもゆくゆくは、サービスとか保険制度も利用になると思いますので今よりは簡単に手続きができるようになってほしいと思います。又私の地域に老人たちが気楽に集まれる集会所などを設けてほしいと思います。
(女性、満70～74歳、中央区)

高齢者は、保健・福祉に恵まれていると思います。若い世代の方が、生活が大変だと思います。
(女性、満65～69歳、白石区)

配偶者を亡くし、一人になった場合、だれでも(希望する者)が介護施設で介護が受けられるような制度になると良いと思います。
(女性、満75～79歳、南区)

現在デイサービスを利用しています。利用料が上がると生活が苦しいので現在のままで
願いたいです。
(女性、満 70～74 歳、北区)

母親が介護施設に入っており認知症です。(今 96 才) 身体が徐々に動かなくなって来て
おり、尿バルーンとおむつを使用しております。将来、自分や妻が同じ様になった時に、
高齢者の人口割合を考えると、介護保険制度の維持は困難かと思えます。各家庭で、介護
ロボットや、移動装置等が、比較的安価に設置できると良いと思えます。
(男性、満 65～69 歳、白石区)

高齢者が自分の年金で安心して入居できる介護施設がたくさんできることを切に思っ
ております。
(女性、満 85～89 歳、白石区)

介護保険制度に関して理解しがたい面もあります。具体的に分かりやすく提供してい
ただくと助かります。
(女性、満 65～69 歳、厚別区)

現在私の父と母は 89 才と 88 才です。私もできることは手伝っていますがやはり母の負
担が大きく、母はもう限界とたびたび言います。そして 2 人で介護施設に入りたいとも
言いますが、父は要介護 1、母は要支援 2 で特養には入れません。介護施設に入るには 2 人
で月に 20 万～30 万かかりとても年金では 2 人で入れません。90 才まで介護保険も使わず
2 人で頑張ってきたので最後くらい年金の範囲で施設に入れたら助かるのと思っていま
す。
(女性、満 65～69 歳、東区)

4. 2. 3 医療

北大病院で RS 3 PE 症候群と診断されるまで約 6 カ月、10 の病院を受診しました。大変
無駄な時間と医療費と苦痛を経験しました。総合医療の窓口があればと痛切に思いました。
市内の病院のすべての専門科等がわかる情報誌等作成開示されればと念願するところ
です。
(男性、満 80～84 歳、西区)

医療費負担について。近年病院へ行くと高齢者が大半であり、そのため、若者が働きざ
かりでありながら待ち時間で半日以上をつぶされている状況をよく目にします。高齢者は
加齢による身体の衰えに起因するものが多く、待合室が社交場になっている。負担金を上
げ、若者の負担率を下げてくださいか？年齢のライン引きが重要にも。
(男性、満 75～79 歳、南区)

2022 年からの医療費を低所得者及び非課税の人達の医療を 1 割にお願いします。
(男性、満 75～79 歳、中央区)

孤立死が大変悪いもののようにとらえられているようですが自立して生きたことが悪
いとは思いません。迷惑をかけてまで生き永らえようとは思いません。未来ある若者、子
供たちにお金を使ってあげてください。在宅での見取りの医者が増えてほしいです。安楽
死も認めてほしいです。
(女性、満 65～69 歳、清田区)

少子高齢化社会の真只中にあります。積極的に立ち向かってほしい。高齢者の医療費の引き上げは避けてほしい。年金生活者には切実な問題です。

(無回答、満 80～84 歳、中央区)

高齢者の医療費今迄 1 割でしたが収入の多い方が 2 割にしてほしいです。私共遺族年金では応えます。これから衰えていくばかりでお金がかかることは増えていくと思います。いつまでも健康ではないのでよろしくお願いします。

(女性、満 85～89 歳、無回答)

4. 2. 4 高齢者の社会参加・生きがづくり

私は健康のため札幌中央健康づくりセンターにいていますが、白石区にもあればいいと思います。公園にも大人が運動できる器具があればいいなと思っています。

(男性、満 65～69 歳、無回答)

現状、健康管理に十分気を付けながら趣味の釣りに参加。年間 8 回くらい参加をします。体力の強化(足腰)を実施している。

(男性、満 85～89 歳、北区)

何でも申請や手続きをしなければ何も出来ないのではなく、多目的に(自由に気楽に行けて)入浴だとか食事も取れ、散歩も出来、運動も有る程度の種類も出来、一日を楽しく過ごせて自由に出入りの出来る施設がほしいです。きっと色々なかたちの友達も出来て生きがいが出来てくると思います。何から何までより自分の身はある程度自分で持たせる様に頑張ってく様に仕向けてください。

(男性、満 75～79 歳、北区)

高齢者の楽しい遊びのような(麻雀のようなゲーム)ができたらいと思う

(男性、満 75～79 歳、中央区)

意見として述べさせていただきます。現在私共夫婦は夫 84 才私 82 才で幸いにも二人とも服薬しつつではありますが、何とか元気に生活しております。そのせいでしょうか、別紙 1, 2 のようなこんなにも多くの保健、福祉サービスの存在すら全く知らずにおりました。このアンケートを通じて、これらを知ることができ、勉強になったことを嬉しく思います。今後は遠からず、いずれかにお世話になることと思われませんが、毎日を二人で楽しんで頑張る生活していきたいと思っています。余計なことになりますが、私たち夫婦は水泳を 30 年近く続けており、目には見えないけれどこれが健康の源になっているのではと思っています。現在も二人共に週 2～3 階教室に通っており健康に気を付けて生活していきたいと願っております。

(女性、満 80～84 歳、北区)

まず健康を維持するための活動を充実させること。体を動かすためのジム等の施設、機会の充実。体を動かす。水泳教室、卓球教室などを増やす。交通費の無償化など出かける機会を増やすことへの援助。文化的活動より楽しく参加できるものを用意する。カラオケ、マージャン、テレビゲームなど、年寄りと思わず、興味をもつてのめり込むものがある。病院に行くより楽しいことを考えよう！！お願いします。

(男性、満 65～69 歳、北区)

4. 2. 5 高齢者のすみよいまちづくり

独身者の一人暮らし、自営業者の国民年金のみの人の老後の不安と現実の暮らしが厳しい。高齢者の住宅事情が厳しい。市、道営住宅などを多く建てて、入れるようにしてほしい。
(女性、満 70～74 歳、東区)

介護について直接関係ないかもしれませんが、現在は一人暮らしでマンションに住んでいます。食事宅配サービス等を受けながら、今のところに住み続けたいと思っていますが、災害の時のことが心配です。 今年の地震の時水が出ないで食事やトイレのことで困りました。私は重いものは持てなく歩行も杖を使っているのに水を取りに行くのもできなかつたです。マンション等での弱者に対する支援ができていないと思います。
(女性、満 85～89 歳、清田区)

72 歳男性一人暮らし、買い物通院外出に不安。膝が悪く（正座不能）高齢により車の運転が制約されると将来は施設に入らざるを得ません。高齢者の交通手段を早期に開発希望します。介護の内容も真に必要な人に必要なサービスを！！レジャー的なサービスはほどほどにしないと保険料が上がるばかりです。収入増を図っている施設もあるように感じます。
(男性、満 70～74 歳、厚別区)

老化は足から来ると言われており、一日でも長く介護保険の世話を成りたくないと思い、年中ウォーキングで足・腰を鍛えているつもりです。が、冬季学校が休みになると歩道の除雪が芳しく無いので、ウォーキングが出来ず困っています。何とか歩道の除雪をお願いする。
(男性、満 75～79 歳、南区)

自家用車手放した後は生活ができなくなる。災害時(川の氾濫の時や地震の時)逃げるのができない、避難所まで行けない。堤防が低いので水がギリギリまで来るのが怖い。
(女性、満 65～69 歳、白石区)

長寿は喜ばしいことと思っていたが、これからは単純に喜べない。元気で長生きは素晴らしいですが、不自由の長寿はしたくないと思いました。夫婦 2 人で年金生活もギリギリ。自宅で最後までとっいても、1 人になり誰かの(家族、他人)お世話になることを考えると、複雑な心境です。特に札幌は除雪が大変です。体力の限界を感じたその日まで、できる限り人のお世話をしていきたいと思います。2 人で仲良く少しでも長く暮らしていきたい。住みやすい街づくりよろしく願いいたします。
(女性、満 65～69 歳、東区)

冬のつるつる道路を何とかしてほしい。(外出・買い物に大変怖い思いをしている)。転倒などでケガして入院等→長期入院→認知症になる高齢者が増えている。 ・一人暮らしの高齢者が増えている現在、ほとんどの人は、家(自宅)で最後まで暮らしたいと希望(私も)、そういうことでの支援の充実がなされていくことを希望します。又、私たち高齢者本人も、自分でできる事は努力しなければと思います。 ・この度の意識調査がなければ、高齢者へのいろいろな事業がこのようにたくさんあることも知らずにおりました。大変勉強になり参考にさせていただきます。

(女性、満 70～74 歳、中央区)

バス路線の見直し強化を希望いたします。(現在車無くして生活は厳しいと思う)
(男性、満 75～79 歳、東区)

・1人住まいの対策と災害時対策 町内会の充実、民生委員等、ボランティアの充実。災害時各個別に通知できる設備、特に高齢者宅。・マンション住まいの高齢者に対するバリアフリー化の助成 住宅内は無論、外出時の車いす利用者のバリアフリー化(マンションの造りで駐車場(車寄せ)まで階段でスロープがない)
(男性、満 65～69 歳、厚別区)

4. 2. 6 市の施策や行政の対応等

私はたまたま民生委員・町内福祉にかかわっているので、福祉サービス等高齢者に関する情報を得てきましたが、ただ家庭にいただけではこうはいかなかったと思います。やはり高齢になる前から外へ出て活動することにより他者へも自分のこととして考える時間は必要と思う。行政からの働きかけも、もっと若い世代に情報を知らせてほしい。
(女性、満 65～69 歳、東区)

高齢者施策の窓口をまずはひとつにして相談しやすくしてほしい。110番や119番のようにここに電話すれば適切な指示や回答を得られるようまずは〇〇〇番というように。どいう時にどこへ相談すれば良いのかわからないので、あるのであれば周知徹底を。
(男性、満 65～69 歳、南区)

国(札幌市を含む)の税金の無駄遣いはないか?を見直し、介護保険料が安くなり、これまでの様なサービスが受けられることは、理想です。弱者といえる高齢者に優しく暮らしやすい社会になることはよいと思います。しかし、高齢者を支えるのは、それより若い世代になるのも現実でしょう。同時に少子化対策もしっかりしてほしいと望みます。安心して産み育てられる社会体制の課題を早期に確実にすすめて欲しいと願います。
(男性、満 65～69 歳、南区)

1. 施策等の公報を多くする。2. 地域ごとにサービス・施設を充実させる 3. 各種施策は地域住民が参加できる体制を整える。
(女性、満 70～74 歳、西区)

私が経験したことです。相談するところがわからない。父の時は区役所に相談しに私が行きましたが、母はわからないままでひたすら介護をしていたと思います。まずどこに相談するか(電話)を、そしてその後介護度が進んだ時にはどこへとわかるように表のようにわかりやすくしてほしいです(各戸に配布してほしい)。今は聞かなければ介護制度は受けられないと思います。
(女性、満 65～69 歳、無回答)

現在は健康であります。何歳まで健康で過ごすことが出来るか、不安はあります。色々な保健・福祉サービスがあるのは判りますが、第1次的には区役所で相談できるようにお願いします。
(男性、満 65～69 歳、白石区)

保健・福祉サービス等、各種ありますが、札幌市で取り組みしている内容を一覧表にし住所と電話番号が記載されたのがあれば便利ですが。各種サービス等はインターネット、スマホで検索できますが、後期高齢者は情報入手が難しくなるので。

(男性、満 65～69 歳、厚別区)

高齢者の意識調査 誰しものが体力・能力がなくなっていくます。札幌市が取り組んでくださることを嬉しく思います

(女性、満 70～74 歳、厚別区)

介護保険料負担に限らず、高所得層の負担を増やす方向で思い切って舵を切らなければ札幌市の保険制度は破綻すると思う。日本の市町村の中でも人気の高い札幌市が今後も住みよい街であるために公正・公平迅速な税負担のあり方を望む。イメージとして、高齢者は比較的余裕があり、子育て中の若い所得が給料が上がらず苦労しているように見える。

(女性、満 65～69 歳、北区)

今後、高齢者が急激に増加することは目前です。高齢者にとって、安心して暮らせる環境を整えて 1 日も早く実現していただけるよう対策と行動を、説をお願い致します。なお、安心して暮らせる環境とは、意識調査のアンケートの中で示すような内容です。

(男性、満 75～79 歳、手稲区)

札幌市が実施されている高齢者向け保険・福祉サービスにつきましては、夫婦共に満足しています。札幌市の福祉行政が、より、幅広い分野で努力されている事に際し、感謝しています。11 月広報にありました、「支援のニーズは多様である」「家族への支援を求める声」「事業の所管の在り方を含め、より効果的な支援体制を検討する」等々がありました。「福祉」とは幸福、公的扶助やサービスによる生活の安定、充足、自由の理とありますから、大変な仕事と思いますが、高齢者に寄り添うこと、高齢者を思いやる社会を確立する為にも、限界をつくらないことを是非お願い申し上げます。今回、「高齢社会に関する意識調査」に参加できましたこと、嬉しく思います。今度共、夫婦共に高齢者及び福祉について協力し、役立っていく努力をしたいと考えています。

(男性、満 70～74 歳、西区)

4. 2. 7 年金について

年金収入だけで生活が大変です。10～20 年前まで年金で老後の生活が可能、と言われていたのに対し、現在はまるで違う。年金から引かれる健康保険料・介護保険料・所得税・住民税の高額が差し引かれ生活に重く軽減を望みます。

(女性、満 75～79 歳、中央区)

年金が少ないのでヘルパーの仕事をしていますが体がきついです。パートの金額も安いので、仕事が出来なくなったらどうしようとか体をこわしたり、けがなどしたらどうしようと心配になります。今の時代色々な事にお金がかかりますね。

(女性、満 65～69 歳、厚別区)

私は家族です。一応はまだ仕事していますが、何につけてもわすれたと言っています。家は少し何か仕事を与えても小学生と同じ答えしかかえってきません。仕事してる人たちにかんたんに何か家に来て本人と話してもらいたい。病院に行くと時間がかかるので考えてほしい。介護保険制度はあまりにも金額が高すぎる。私たち国民年金で生活している者にはたいへん生活しにくいです。ほんとうに生活保護受けている方とか第一段階とか第二段階とか国から援助受けている方々は若い時に一生けんめい働いていない人たちも国からの補助を受けている人たちが多いですね。私達のように身体をこわしてまでも働いていた者に対しての恩恵はひとつも有りませんよね。あまりにもひどすぎる社会だと思えますね。いままで税金もはらってきているのだからこうへいにあつかってほしい。

(男性、満 65～69 歳、南区)

国民年金なので生活費がとても大変なので、もう少し上げてほしい。でも他の面ではめぐまれていると思います。

(女性、満 75～79 歳、無回答)

4. 2. 8 その他

自宅の周りにいろいろと老人の施設ができていますが、費用が高い所が多い。これからはもっと安い費用で利用できる施設が増えてほしい。子供がいても様々な理由で世話になることができない。子供が進行性の病気をもっているので、そちらの世話が優先。ただ将来自分達がどうしようもなくなった場合、安く入れる施設があると安心である。

(女性、満 65～69 歳、西区)

子供・若者の将来を大事に考えて暮らすことが大事である事は理解するが、テレビ・新聞等は特に子供・若者が中心的に表現している。世の中は一生懸命努力してきた人がうかばれる世の中でないと何の為に努力してきたか判らない。此の様な世の中は違っていると考えます。

(女性、満 70～74 歳、北区)

高齢者に対しての無料のことは良くないと思います。若い人達にとっても無料は良くないと思います。やはり何でもお金は必要という事を大切にしたいと思います。札幌は雪が多いので冬の雪対策にお金は使うべきと思います。

(女性、満 65～69 歳、北区)

今現在自分一人になり、子供がいてもいつも頼りにしているのも私としては気が重く、できるだけ、自分ででき得ることを自分がするように心掛けてはいます。どんどん老いてゆく己を感じて自由に趣味でドライブなどが出来ないのは、大変不自由というか、もう少しこの社会にお世話になってと思いますが、老いた者は厄介にならないように控えたいとも思います。冬季の除雪よろしくおねがいたします。

(女性、満 85～89 歳、中央区)

健康を害しており記入するのが大変でした。このようなアンケートをしなくても高齢者の問題についてしなければならぬことをわかっていなくては、わかっているはず。こんなことにお金を使うより少しでもやらなければならないことをしてほしい。

(男性、満 80～84 歳、中央区)

配偶者が亡くなり一人暮らしの高齢者です。その後、民生委員ですと言ってインターホンを押した人がいました。見知らぬ人が何の予告もなく玄関前に来ても対応しないようにしています。民生委員の確認のため「連絡先のメモを入れてください」と言いましたが、何もせず退去しました。ニュースで高齢者を狙って警察官の服装をしたり、にせの警察手帳を見せたりして犯罪が行われているのを見ることがありました。突然、民生委員を言われても予告もなく、本物かどうか分かりません。区役所や担当の役所からこのような人が訪問しますという連絡もありません。現在も見知らぬ人がチャイムを押しても無視しています。いまだに、本物の民生委員と確認して応答したことはありません。

(女性、満 80～84 歳、手稲区)

市民も高齢化が進み、行政の苦労も大変かと思案する状態です。多種多様な要望が多く今回の調査結果を踏まえて行政に反映されることを祈っています。

(男性、満 90～94 歳、北区)

介護事件認知症事故などに関わる消費生活相談センターや警察署活用の設問がないのはなぜですか？又、高齢者交通事故が多発する中で移手段の設問があることを望みます。

(男性、満 75～79 歳、東区)

除雪シーズンに入りました。せっかく、除雪した玄関前に除雪した雪をあたかも何処かへ出て行けと感ずる除雪はやめていただきたい。老人二人でやっと生きている状況です。で・・・お願いいたします。

(男性、満 75～79 歳、東区)

今回のアンケートとは関係がないと思いますが、私の母は大正 5 年生まれで今年の 10 月 10 日の誕生日に 102 歳になりました。連れ合いを平成 23 年に無くしてから一人住まいになりましたので、施設にいれても皆さんと仲良く生活できる性格ではありませんので、姉妹 4 人でシフトを決めて母の介護に通っております。自分で食事をし、夜中のトイレも自分で起きて用を足してきます。大体のことが自分でできていますので介護に行くといっても私たち姉妹はとても楽だと思えます。医療費も介護保険料も一切使用することなく元気に生活しているお年寄りがいることをわかってほしくて一筆書きました。読んでいただけたら幸いです。ありがとうございました。

(女性、満 70～74 歳、手稲区)

